

令和4年1月14日（金）
国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

記者発表資料

大宮国道事務所発注工事にて
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「間接工事費実績変更方式」
「見積活用方式」「難工事指定」を試行します。
併せて「余裕期間制度」「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する下記工事①②は、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じていることが予想されたため、以下の（１）（２）（３）（４）を試行、（５）（６）を採用します。

【対象工事（※工事の概要は別添の工事概要を参照してください）】

- ① R3浦和・春日部管内交通安全対策工事
- ② R3大宮・熊谷管内交通安全対策工事

（１）「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

（２）「間接工事費実績変更方式」

安全費・運搬費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

（３）「見積活用方式」

市街地であり現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながら交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

（４）「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を試行します。

（５）「余裕期間制度（任意着手方式）」

契約日から工事着手期限日（令和4年4月1日）までの期間において、受注者が任意に工事着手日を選定できます。余裕期間内は、監理技術者の配置を要しません。また、余裕期間内は、工事請負約款第11条に定める現場代理人の常駐を要しません。

（６）「施工箇所が点在する積算方法」

施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所	電 話	048-669-1200（代）
副所長（技）	わたなべ ただし 渡邊 正	（内線 205）
交通対策課長	たいら てつじ 平 哲治	（内線 471）

OR3浦和・春日部管内交通安全対策工事

《工事概要》

- (1) 工事場所: 自^{さいたまけんとだしほんちょう}埼玉県戸田市本町一丁目 至^{さいたまけん}埼玉県さいたま市南区別所三丁目 外^{べっしょ}
- (2) 工期: 工事の始期から320日(ただし、令和4年4月1日までに工事を開始すること。)
余裕期間制度(任意着手方式)
- (3) 入札方式: 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)
- (4) 工事種別: 維持修繕工事
- (5) 工事内容(概要)
- | | | | |
|---------|--------------------|------|--------------------|
| ガードパイプ | 約2,800m | ボラード | 約200本 |
| 表層(歩道部) | 約200m ² | 作業土工 | 一式 |
| 横断防止柵撤去 | 約2,000m | 植栽撤去 | 約100m ² |

《公募型指名競争入札方式について》

競争参加者が少数と見込まれる対象工事ごとに技術資料収集に係わる公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《間接工事費実績変更方式について》

○実績により変更を行う工種

共通仮設費(率分)のうち、「安全費」及び「運搬費」

○実績により変更を行う理由

本工事施工箇所は、交通量も多い市街地であり、沿道全域に店舗や住宅等が連担している箇所です。

そのため、交差点内及び周辺の交通、沿道店舗等の出入り及び横断歩行者の安全を確保しながら、防護柵工等を施工しなければならず、また、交差点内の交通規制帯をこまめに分割して施工することから、「安全費」について標準歩掛と乖離が想定されます。

また、沿道全域に店舗・住宅等が連担することから、施工箇所周辺に資機材置き場の確保が困難であり、その都度の資機材搬入が必要となることから、「運搬費」においても標準積算と乖離が想定されます。

以上の点より、間接工事費実績変更方の対象項目として「安全費」「運搬費」と対象とします。

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

直接工事費 防護柵工のうち ガードパイプ

○見積の提出を求める理由

施工箇所は、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連担し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通及び沿道店舗等の出入り、かつ、歩行者等の通路を確保しながら限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《難工事指定について》

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事(試行)」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《余裕期間制度について》

契約期間内であるが、工期外のため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことが出来るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

《施工箇所が点在する積算方法について》

○点在する工事箇所

さいたま地区（さいたま市南区辻七丁目地先～さいたま市南区别所三丁目地先）

戸田地区（戸田市本町一丁目地先～戸田市上戸田一丁目地先）

越谷地区（越谷市谷中地先～越谷市千間台東四丁目地先）

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書 交付 : 令和 4年 1月17日（月）

○競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限 : 令和 4年 1月31日（月）

○入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和 4年 2月28日（月）

○開札日 : 令和 4年 3月 3日（木）

OR3大宮・熊谷管内交通安全対策工事

《工事概要》

- (1) 工事場所：自) 自) さいたまけんこうのすしてんじん 埼玉県鴻巣市天神二丁目 至) さいたまけんくまがやしおおい 埼玉県熊谷市太井 外
- (2) 工期：工事の始期から330日（ただし、令和4年4月1日までに工事を開始すること。）
余裕期間制度（任意着手方式）
- (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (4) 工事種別：維持修繕工事
- (5) 工事内容（概要）
- | | | | |
|---------|--------------------|------|-------------------|
| ガードパイプ | 約2,500m | ボラード | 約250本 |
| 表層（歩道部） | 約280m ² | 作業土工 | 一式 |
| 横断防止柵撤去 | 約600m | 植栽撤去 | 約20m ² |

《公募型指名競争入札方式について》

競争参加者が少数と見込まれる対象工事ごとに技術資料収集に係わる公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《間接工事費実績変更方式について》

○実績により変更を行う工種

共通仮設費（率分）のうち、「安全費」及び「運搬費」

○実績により変更を行う理由

本工事施工箇所は、交通量も多い市街地であり、沿道全域に店舗や住宅等が連担している箇所です。

そのため、交差点内及び周辺の交通、沿道店舗等の出入り及び横断歩行者の安全を確保しながら、防護柵工等を施工しなければならず、また、交差点内の交通規制帯をこまめに分割して施工することから、「安全費」について標準歩掛と乖離が想定されます。

また、沿道全域に店舗・住宅等が連担することから、施工箇所周辺に資機材置き場の確保が困難であり、その都度の資機材搬入が必要となることから、「運搬費」においても標準積算と乖離が想定されます。

以上の点より、間接工事費実績変更方の対象項目として「安全費」「運搬費」と対象とします。

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

直接工事費 防護柵工 のうち ガードパイプ

○見積の提出を求める理由

施工箇所は、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連担し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通及び沿道店舗等の出入り、かつ、歩行者等の通路を確保しながら限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《難工事指定について》

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評価を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《余裕期間制度について》

契約期間内であるが、工期外のため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことが出来るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

《施工箇所が点在する積算方法について》

○点在する工事箇所

鴻巣1地区（鴻巣市天神二丁目地先～鴻巣市神明一丁目地先）

鴻巣2地区（鴻巣市鎌塚一丁目地先～鴻巣市北新宿地先）

熊谷1地区（熊谷市太井地先）

熊谷2地区（熊谷市上之地先）

入間・狭山地区（入間市宮寺地先～狭山市鶴ノ木地先）

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書 交付

: 令和 4年 1月17日（月）

○競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限

: 令和 4年 1月31日（月）

○入札書・工事費内訳書 提出期限

: 令和 4年 2月28日（月）

○開札日

: 令和 4年 3月 3日（木）

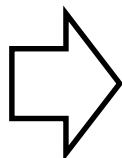
公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

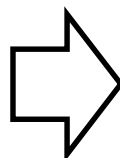
【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

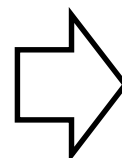


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



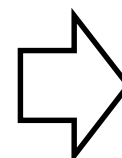
参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上